

8

2007年

組合広報

NO. 488

よろこばれ 期待され 魅力ある

東京都鍍金工業組合
東京鍍金公害防止協同組合

URL <http://www.tmk.or.jp>

わたしの意見	組合員の立場になって	副理事長 池田 敏則	1
役員会委員会	理事長日誌、組合・関連団体行事予定		2
	工組理事会		3
	都環境局環境改善部 土壌汚染総合実態調査の調査対象事業所募集		7
	技能検定実技試験実施		9
あなたの予定表	9月の環研・協組集荷日程ほか		10
	訓練校 9月授業案内		11
	平成 19・20 年度役員・委員会・顧問・相談役構成		12
	正副理事長・専務理事		14
顔写真集	常任理事・支部長・理事・監事		15
	各委員会		19
	顧問・相談役		22
	部会長・青年部会長		25
	工組・協組事務局職員		26
	亜鉛めっき部会講習会開催のお知らせ		27
	石川進造氏 ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞受賞		28
	都産業労働局 京王電化工業㈱視察		29
	東京都中小企業の 6 月景況		
	SURTECH2007「ものづくりー表面技術のすべてがわかるー」		30
	Pマーク認証取得企業向け新 J I S に対応するための		
	ケーススタディ研修案内 訃報		32
	第 41 回上級表面処理技術講座 受講生募集		33
	十日会 7 月例会		34
支部通信	城南支部、城北支部、中央支部、城東支部、城北青年部会		35
	中国語 これはなにかな? 「火車」「汽車」		40

組合員の立場になって

副理事長 池田敏則



この度ははからずも組合員皆様のご推挙により副理事長の重責を拝命いたしました。担当は、環境委員会と東京鍍金経済研究会であります。これまで経験や知識もなく、至らぬ点が多々あると思いますが、皆様のご指導を頂きながらこの大任を果たして参りたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

環境委員会につきましては、ベテランの川上副理事長がおりますので、私ができることでお役に立っていきたいと考えております。

経済研究会としては、めっき業界は土壤汚染問題はじめ排水規制強化など厳しい環境にありますので、政官界をはじめ関係方面へ業界の実状を訴えてご理解を頂き、ご支援をお願いすることが大変重要になっております。

毎年、組合では、めっき業界が抱える問題とその解決への行政のご支援をお願いする要望をとりまとめて、東京都、都議会各党へ提出する要望活動を展開しております。

昨年からの大きな動きとしては、昨年3月に都議会自民党鍍金振興議連のお力添えを頂いて、小池百合子環境大臣と懇談し、土壤汚染問題で財政援助をお願いしました。土壤汚染問題については都議会自民党のご支援を頂いた結果、東京都は平成18年度の総合支援対策検討委員会の検討に続いて、平成19年度では大幅に予算を増額し、土壤汚染対策経費として実態調査経費を含めて1億8000万円の予算を計上して実態調査を実施することと致しました。めっき業界の要望が大きく前進することになりました。

また、排水規制ではほう素、ふっ素等の暫定排水基準の適用が本年6月末で期限切れとなりましたが、めっき業界においては一律排水基準を達成できる技術が開発されていない現状から暫定排水基準の再延長を関係省庁に要望して参りました。本年2月には公明党をお力添えを頂いて若林環境大臣と懇談し、暫定排水基準適用期間の再延長を要望致しました。こうした組合の活動が実り、現行の暫定排水基準のまま再延長されることになりました。

このように業界の現状を訴えご支援をお願いする陳情請願運動が大変重要になっております。めっき業界にはまだまだ多くの難しい問題を抱えており、今後とも組合員皆様のご支援を頂いて強ちに陳情請願運動を展開して参りたいと考えておりますので、さらなるご支援をお願い申し上げます。

私は支部長時代、組合員皆様の身近な問題で飛び回った経験があります。今後とも組合員の立場に立って考え、組合の仕事をして参りたいと思います。

姫野理事長日誌



7 月

1 日(日)第 10 回 11 支部親睦ゴルフ大会

4 日(水)全鍍連国際委員会

正副理事長会・理事会

5 日(木)全鍍連環境対策委員会

11 日(水)関東甲信越静理事長打合せ

19 日(木)都議会公明党打合せ

20 日(金)参院選大西候補応援見舞

西部支部新旧役員会

23 日(月)都産労局商工部長、総務部長等 13

名京王電化工業視察

24 日(火)公害防止協同組合運営委員会

26 日(木)全鍍連常任理事会(山形)

～組合・関連団体行事予定～

9 月 5 日(水)正副理事長会・理事会

9 月 6 日(木)東京都予算等要望

環境委員会

9 月 5～7 日(水～金)SURTECH2007(幕張
メッセ)

9 月 10 日(月)十日会例会

9 月 19 日(水)顧問・相談役会

9 月 26 日(水)全鍍連北海道東北ブロック会議

10 月 2 日(火)広報委員会

10 月 3 日(水)正副理事長会

10 月 4 日(木)環境委員会

全鍍連関東甲信越静ブロック会議(山梨)

10 月 10 日(水)亜鉛部会講習会(矢部講師)

10 月 11 日(木)技能教育委員会

全鍍連環境対策三役会

10 月 12 日(金)J E S 秋季大会

10 月 16 日(火)訓練校工場見学会

10 月 17 日(水)全鍍連近代化三役会

10 月 18 日(木)全鍍連技術三役会

10 月 19 日(金)全鍍連東海北陸ブロック会議

10 月 24 日(水)全鍍連総務委員会

10 月 25・26 日(木・金)第 10 回産業交流展

10 月 26 日(金)全鍍連中国四国九州ブロッ
ク会議

11 月 7 日(水)正副理事長会・理事会

11 月 16 日(金)全鍍連近畿ブロック会議

11 月 22 日(木)全鍍連第 45 回全国大会

12 月 1 日(土)葛飾支部創立 60 周年記念

12 月 4 日(火)広報委員会

12 月 5 日(水)正副理事長会

12 月 6 日(木)環境委員会

平成 20 年

1 月 9 日(水)正副理事長会

1 月 17 日(木)新年賀詞交歓会(予)

1 月 24 日(木)技能教育委員会

2 月 2 日(土)訓練校技能照査(実技)

工組第2回 理 事 会

東京都予算要望検討

と き 平成 19 年 7 月 4 日(水)
午後 6 時 30 分～8 時

ところ めっきセンター4 階会議室

出席者 姫野、大村、川上、八幡
志田、神谷、池田 青木
小橋、高倉、中澤、吉川
篠根、小嶋、永田、菊池
石田、山田、西原
遠藤、西野、荻宿、高橋
内田、藤田、若山、原
佐藤、池田、宮川、入内島
大和田、斎藤、石井、細井
豊田、小倉、広根、柴田
石崎、深田、柴、池田

(監事) 柏村、藤田

理事会開会に先立ち、東京都環境局環境改善部の方々から「土壌汚染総合実態調査実施の協力」(別掲)について説明を頂いた。また、吉川常任理事から、過日の母親の葬儀への役員各位の会葬にお礼の言葉があった。

青木専務理事が定足数を満たしていることを報告、定款の規定により、姫野理事長が議長に就任し、7 月 1 日の第 10 回親睦ゴルフ大会が大勢の参加を得て盛大に開催できたことを感謝する旨の開会の挨拶をした。各議案の内容は議長の求めに応じて青木専務理事が説明した。

1. 平成 20 年度東京都予算への要望事項(案)について

青木専務理事が資料に基づいて要望の要旨を説明した。

要旨として、1)土壌汚染対策関係で、本理事会前に都環境局から説明があったように、今年度土壌汚染調査を都自身が行うが、今年度限りの事業として次年度以



降同様の調査を行う予定はないとのこと
で、引き続き何らかの形で調査して頂
けるような要望を出していきたい。2)ク
エン酸ニッケルめっきの実用化へ向けた実
証実験を行っているが、ネックはユーザ
ーがそのメリットを見出せないことで実
用化が足踏み状態となっており、ユーザ
ーに対するインセンティブを設定して頂
きたいということ、3)公防協組の関連で、
産業廃棄物の中間処理施設や最終処分場
の確保・設置の推進を要望するものであ
る。4)準工地域でのマンション建設が進
み、工場が追い出される傾向があり、本
来の用途と逆行する傾向に対して善処方
の要望などを検討している。8月1日の
正副理事長会まで原案作成、精査し9月
理事会に提出したいと諮り、承認された。

2. 平成 19 年度顧問・相談役会の開催について

青木専務理事が、2ヶ月前から会場と
交渉した結果、9月19日、20日、21日
のうち19日しか空いていないので19日
で進めさせて頂きたい。出席者は顧問・
相談役のほか正副理事長、常任理事、支
部長であると説明し、承認された。

平成 19 年 9 月 19 日(水)午後 5 時～／
東京ガーデンパレス

3. 平成 20 年新年賀詞交歓会の日程及び 取り組み体制について

青木専務理事が、300 名以上の着席と
いう条件を満たす会場として折衝し、現
在のところ目黒雅叙園を押さえた。昨年
同様、総財務三役、支部長で実行委員会
を編成し、秋以降に取り組んでいきたい
と説明、承認された。

平成 20 年 1 月 17 日(木)午後 6 時～目
黒雅叙園(案)

4. 東京都中小企業団体中央会会長表彰 推薦について

青木専務理事が、表彰規程の組合理事
歴 10 年以上で今年度対象者が 5 名であ
ることを説明、承認された。

志田和陽副理事長、池田敏則副理事長
吉川 進常任理事、篠根健一常任理事
藤田直人理事

5. 月次予算実績管理表・合計残高試算 表(4 月～5 月)

青木専務理事が資料に基づいて 4 月、
5 月の 2ヶ月分の事業収益、事業費、一
般管理費等の収支状況として概ね順調に
推移していることを説明、了承された。

6. 組合員異動

青木専務理事が資料に基づいて今年度、
加入 0、脱退 6 社、変更 3 社、現組合員
数 455 社となることを報告、了承された。

(報告事項)

1. 平成 19 年度東京都中小企業経営革新 特別対策事業について

青木専務理事が同事業概況を説明した。
計画事業:「亜鉛めっき工場に於ける環境
対策」

事業の目標:亜鉛の排水規制値の強化
(5mg/L→2mg/L)に伴い現在の排水処理
技術の見直し、EUの特定化学物質使用
規制(RoHS 指令)等、亜鉛めっき工場を
取巻く環境が厳しい中、学識経験者、薬
品メーカー、めっき事業者等からなる委
員会を組織し、問題点を提起し解決の道
を指し示す。

4回の会合の中で意見を集約、40～48
ページの本にまとめ、組合員の環境対策
への意識高揚に繋げる。

委員会メンバー

委員長 川上洋一((資)東亜鍍金工場)

学識経験者

矢部 賢(矢部技術事務所所長)

小坂幸夫(東京都立産業技術研究センター資源環境グループ長)

薬品メーカー

山室正明(日本表面化学(株)常務取締役統括部長)

吉田道正(ディップソール(株)取締役研究開発本部長)

排水処理薬品メーカー

奥村浩(株)共立理化学研究所取締役開発部部長)

組合員

池田敏則(株)進光舎鍍金)

永田一雄(株)梅田鍍金工業所)

菊池忠男(光陽鍍金(株))

太田幸一(太田鍍金工業(株))

製本担当者 須崎秀喜(スザキ企画)

組合職員 志賀孝作(東京都鍍金工組)

同計画申請は6月26日付で東京都から承認された。

2. 平成19年度技能検定実技試験について

7月28日・29日の実技試験に64名が受検することを報告した。

3. 平成19年度全国めっき技術コンクールについて

毎年全鍍連が実施している同コンクールの実施要領を報告した。

4. 第41回永年勤続優良従業員表彰について

7月31日現在で3年、5年、10年…30年、30年以上の勤続者を受け付ける。7月9日組合員にFAXで案内、申込締切8月17日など実施要領を報告した。

5. 年間行事予定表

現在から明年5月までの組合行事予定を報告した。

6. 全鍍連生産額調査資料提出について

全鍍連が活動方針の策定や業界動向を把握するために実施している調査で、国等への貴重な申請データとなっている。平成19年2月から4月の生産額を算出の協力について報告した。

7. 連合青年部講習会資料

高橋連青会長から、6月14日めっき業界のための地震災害時等における対策と対処について勉強会を行い青年部だけでなく組合員の参加を頂いたことに感謝の言葉を述べた。また有意義な講習であり、講習資料を他の組合員にも配布して頂きたいと要望した。

8. その他行事案内

「第10回産業交流展2007」出展募集のご案内

METEC'08第37回表面処理材料総合展開催・出展のご案内

航空機関連産業参入セミナー

資料に基づいてそれぞれの催し物の内容を案内した。

9. 組合120周年記念事業開催について

青木専務理事が説明し、平成21年に組合創立120年を迎え、正副理事長会が記念事業の実施を決定した。正副理事長会の意見として平成21年の新年賀詞交歓会を取り止め2月に120周年記念事業を開催してはどうか。2年後のことであり、今秋から実行委員会を組んで取り組んでいきたいと説明、協力をお願いした。

10. 役員名簿の確認について

青木専務理事が、役員名簿を印刷するが、印刷前に内容の確認をお願いしたいと要望した。

11. 質疑応答

細井足立支部長が「金属価格の高騰」について説明した。

「先日当支部は自民党、公明党の区議団とそれぞれ懇談会を行った。本来、組合本部の要望書がまとまった後にそれを要望するが、まだまとまっていなかったので、支部で土壤汚染問題と金属高騰の問題で要望した。土壤汚染問題に関しては我々にとって改善してほしいことを要望した。詳しくは広報7月号に掲載する。

また、ここ1～2年の金属の高騰に関して、我々業者が困窮していることを説明し、国レベルで、地場産業を守って頂きたいと要望した。

資料の金属価格の変動はLMEに基づくもので、03年に比べ07年5月は銅、亜鉛は約4倍強、ニッケルは07年5月に6356円(6倍強)の最高値をつけ、6月に2000円ほど急落したが現在も4000～5000円前後を推移しており、このままではめっき業の経営が成り立たなくなる。そこで本部にお願いしたいのは

- 1)こうした価格動向を広報に掲載してもらい、組合員の参考に供してほしい。
- 2)各支部がどう動いているかを把握してほしい。ここ1～2年の金属価格の動向に対して組合員が、得意先に対して値上げ交渉をしたか、その結果がどうか、アンケートをとってその結果を広報に掲載してもらえば組合員にとって参考となる。
- 3)組合員が顧客に対して値上げ交渉をしやすくするため「取引価格の適正化」文書を作って頂きたい。」と要望した。

篠根常任理事は「仲間が集まると、金属高騰や単価値上げの話で持ち切りになる。景気が良ければ価格交渉もやりやすいが、景気が悪い中でみなさん躊躇している。値上げした事業所もあるが、まだ出来ない事業所もある。値上げが出来たか、出来ないか、出来ない理由は何か、そういう調査結果を広報に掲載すれば参考になると思う。現実には値上げしなければならない状況であり、それを後押しするようなデータをとって頂ければありがたい。調査結果は広報に載せて頂ければ参考になる。

ニッケルの国家備蓄について、過去に180t放出されている。色々条件があるが、これだけ価格が異常に高騰しているので、関係官庁に要望できないかを検討してほしい」と説明した。

遠藤支部長は「当支部も例会ではこの話で持ち切りである。組合員の悲痛な叫びとなっている。環境問題に対して環境プロジェクトを作ったが、金属材料高騰についてもプロジェクトを作ってはどうかと思う。組合として出来ることがあればやってほしい」と説明した。

姫野理事長は「我々の経営が厳しいことを理解してもらうためにはきちんとしたデータを取る必要がある。足立支部長が言われるようにまずは金属高騰に伴う、各支部の価格交渉の実態を調べることから始めて、城東支部長が言われるような対策チームを立ち上げて取り組んでいきたい」とはかり、承認された。以上をもって議案全部の審議を終了したので、川上副理事長が閉会を告げ散会した。

東京都環境局環境改善部

土壤汚染総合実態調査における調査対象事業場の募集

東京都鍍金工業組合平成 19 年度第 2 回理事会(7 月 4 日(水))に先立ち、東京都環境局環境改善部の方々より「土壤汚染総合実態調査実施について」の説明を頂いた。

東京都環境局 環境改善技術担当部長 柿沼潤一氏、同環境改善部副参事(土壤地下水汚染対策担当)石原肇氏、同環境改善部有害化学物質対策課企画係主事 榎原慎久氏

説明の内容は、1.調査対象事業場の募集の概要、2.土壤汚染総合実態調査実施に関するお願い、3.土壤汚染総合実態調査内容・調査の流れ、4.法律、条例の仕組みなどである。

調査対象事業場の募集の概要

東京都は、土壤汚染の実態を把握するため土壤汚染総合実態調査(以下「調査」という)を行います。ついては、下記のとおり調査対象事業場としてご協力いただける事業場を募集します。

1 募集の概要

(1) 募集の対象となる事業場

「土壤汚染総合実態調査実施に関するお願い」の各事項にご協力いただける事業場で、以下のアもしくはイに該当する事業場
ア 施設あるいは事業場を既に廃止したあるいは今後廃止を予定している事業場で、平成 19 年 12 月 28 日までに調査に着手することが可能な事業場

イ 現在、土壤汚染対策法・環境確保条例の調査猶予となっている事業場

※ 施設あるいは事業場の廃止とは、廃止時の必要な手続き(水質汚濁防止法・下水道法に基づく特定施設廃止届、環境確保条例に基づく工場・指定作業場の廃止届など)すべてを完了した時点のことをいいます。

(2) 調査の内容

「土壤汚染総合実態調査内容」のとおり

(3) 調査対象事業場の選定

地域的な分布や事業場面積などから判断し、



調査対象事業場を選定します。応募された事業場の中で総合実態調査を実施できない事業場が出る場合があります。

(4) 応募方法

ア 申込書

別紙「土壤汚染総合実態調査協力申込書」に必要な事項をご記入の上、下記申込先までお送りください。FAX でも申込可能です。下記申込先 FAX 番号までお送りください。

有害物質の使用については、平成 15 年 2 月 14 日以前の使用と平成 15 年 2 月 15 日以降の使用を区別してチェックしてください。

どちらの期間も使用している場合には、両方にチェックしてください。使用のない物質・期間については空欄のまま結構です。

イ 申込先 東京都鍍金工業組合 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-11-10

TEL:03-3814-5621 FAX03-3816-6166

ウ 申込締切り 8 月 31 日(金)

2 スケジュール

調査対象事業場の募集から結果通知までのスケジュールは以下のとおりです。

調査対象事業場の募集 7 月～8 月

調査対象事業場の選定 7 月～8 月

調査の実施 8 月～2 月

調査結果の通知 10 月～3 月

3. その他

ア 調査結果は調査終了後、各事業場へ通知します。

イ 調査の結果如何によっては、各事業場に

において自主的に対応を執って頂く必要が生じます。

ウ 各事業場の名称を当事者の了解なしに公表することはありません。

エ 当該事業は本年度限りのものです。次年度に同様の調査を実施する予定はありません。

4. 問い合わせ先 東京都環境局環境改善部
有害化学物質対策課 〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2 丁目 8 番 1 号 TEL:03-5388-3467(直通) FAX:03-5388-1376

土壌汚染総合実態調査内容

＜事業場における調査の流れ＞

①現地調査

汚染原因、汚染経路を特定するため、過去から現在までの施設配置・配管、作業内容、製造製品、取扱物質、排出状況などを把握する調査です。

既存の図面等資料の収集、聞き取り調査、現場確認調査等を実施します。

②調査計画の策定

現地調査結果を基に、調査地点等を設定します。調査計画は業者が策定します。

土壌の分析項目は取扱い履歴のある有害物質のみとなります。

③概況調査

100m²(単位区画という)に 1 点の割合で土壌ガスや表層土壌の採取、分析を行い、有害物質の土壌への浸透の有無を判断します。この調査で、基準超過が確認されなかった場合は、有害物質の土壌への浸透は無いと判断され、調査終了となります。

④絞り込み調査

概況調査で汚染ありと判断された単位区画で、汚染原因、汚染経路の把握のため、追加の土壌ガス調査や表層土壌調査を実施します。単位区画における汚染の分布を把握します。

⑤ボーリング調査

概況調査で汚染ありと判断された単位区画で、汚染の深度方向の拡がりを把握するため、ボーリング調査を実施します。なお、有機塩

素化合物については、概況調査で土壌ガスが検出されても、ボーリング調査で全深度基準超過が確認されない場合は、土壌汚染は無いと判断されます。調査期間はボーリング実施本数により変わります。(概ね 1 本/日)

⑥追加ボーリング調査

一部事業場では汚染原因、汚染経路を詳細に把握するため、追加ボーリング調査を実施し、三次元的な汚染の拡がりをより詳細に調査します。調査期間はボーリング実施本数により変わります。(概ね 1 本/日)

⑦井戸仕上げ

⑧地下水調査のための準備工です。ボーリング孔が崩れないよう井戸に仕上げます。パイプをボーリング孔に建て込み、表層部をマンホールに仕上げます。

⑧地下水調査

汚染物質の地下水への影響を把握するため、地下水の採取、分析を実施します。また地下水の流速、流向を把握するための調査もあわせて実施します。

⑨大気モニタリング調査

土壌汚染が確認された事業場において、汚染物質の大気への影響を把握するため、大気モニタリング調査を実施します。対象物質は水銀及び有機塩素化合物です。事業場内の汚染が一番高濃度であった地点と事業場内の一番風上側(バックグラウンドとして)の 2 地点で調査を実施します。

説明終了後、質疑応答を行い、青木専務理事は、各支部長に平成 13 年以降の脱退者一覧を配布したが、事務局では実状が分からないので、既に調査したところや組合からの案内が不要なところがあれば 7 月 13 日までに連絡を頂きたいとお願いした。

理事から質問があり「今回何件調査するのか」、「40 ヶ所」「鉛など使用履歴のない物質が検出された場合はどうか」「基本的に取扱履歴のある物質を調査対象とする」などの説明を頂いた。

技能検定実技試験実施

東京都鍍金工業組合技能教育委員会(高倉利守委員長)は、東京都職業能力開発協会の委託を受けて7月28(土)、29(日)の両日、めっきセンター地階会場で平成19年度電気めっき技能検定1級、2級の实技試験を実施した。

受検者は1級組合員9名、員外4名の計13名、2級組合員34名(欠席2名)、員外17名(欠席2名)の計51名の合計64名(欠席4名)である。

技能教育委員会では試験に先立って、6月7日、水準会議、誘導、試料、分析、ニッケル・クロム、亜鉛・クロメート、分析、厚み測定、判定等の業務分担を確認。7月7日受検者に対する課題説明、7月18日リハーサル及び最終チェックなどを行った。

試験は、まず2階待合室で受検者は着替えなどして試験開始時間まで待機、その間誘導係から注意事項の説明を受けてから3人1組で順次試験に臨んだ。

試験内容は、1級はニッケル・クロム、亜鉛・クロメート、分析(不調液調整)、2級はニッケル・クロム、亜鉛・クロメート、分析(中和滴定)である。



(1級分析・不調液調整)



(治具作製)



(ニッケル・クロムめっき)



(亜鉛めっき)

試験日には中央職業能力開発協会・東京都職業能力開発協会係官の視察、組合本部からは姫野理事長はじめ役員が陣中見舞いに訪れ、試験運営に当たる各委員を激励した。

9月 あなたの予定表

日	曜	役員会・委員会他	環研集荷(ブロック長)	協 組 集 荷	メ モ
1	土				
2	日				
3	月				
4	火		大田支部	城東支部	
5	水	正副理事長会・理事会		城北支部	SURTECH2007 (幕張メッセ)
6	木	環境委員会	品川支部・大田支部	中央支部	
7	金			葛飾支部	
8	土				
9	日				
10	月		城南支部	足立支部	十日会例会
11	火		城西支部	西部支部	
12	水		城西支部・城北支部	目黒・世田谷地区	
13	木			品川地区	
14	金		中央支部・本所支部	葛飾支部	
15	土				
16	日				
17	月	敬老の日			
18	火		向島支部		
19	水	顧問・相談役会		向島支部	
20	木		西部支部	本所支部	
21	金		城東支部・葛飾支部	葛飾支部	
22	土				
23	日	秋分の日			
24	月	振替			
25	火				
26	水		葛飾支部	蒲田・大森地区	全鉄連北海道東北ブロック会議
27	木			城西支部	
28	金		足立支部	葛飾支部	
29	土				
30	日				

(役員会、委員会は変更する場合がありますので、本部からの通知をご確認下さい)

9 月 高等職業訓練校授業案内

授業日(火・金) 授業時間(A:14:00～17:00 B:17:00～20:00 C:17:00～20:30 D:17:00～21:20)				
日	曜	時	科 目	内 容(予 定)
4	火	A	無電解めっき① (特殊めっき法)	無電解ニッケルめっきの析出原理、めっき皮膜の性質、めっき作業、浴管理、不良対策 鍍金組合技術顧問 神戸徳蔵
		B	後処理① (めっき法)	クロメートの皮膜構成と処理法、代替クロメート皮膜と処理法、耐食性等。(資)東亜鍍金工場 川上洋一
7	金	A	無電解めっき② (特殊めっき法)	無電解ニッケルめっき浴の作製、各種素材による実験、合金めっき等 鍍金組合技術顧問 神戸徳蔵
		D	労働安全衛生法規① (安全衛生)	労働安全衛生法、有機溶剤と特定化学物質及び四アルキル鉛等障害予防規則。 鍍金組合環研 長嶋政人
11	火	A	無電解めっき③ (特殊めっき法)	無電解銅、無電解コバルト、その他無電解めっきの構成、廃液処理等。 鍍金組合技術顧問 神戸徳蔵
		D	有機溶剤(医学)② (安全衛生)	有機溶剤による健康障害の病理、症状、その予防方法及びその応急措置について 岡村勝郎、石川辰雄
14	金	A	すず・接合めっき① (めっき法)	すずの性質、すずめっきの特徴、すずめっき浴の種類と酸性浴等。 石原薬品(株)研究部 辻清貴
		D	有機則(環境)③ (安全衛生)	有機溶剤の性質、製造及び取扱に係る器具その他の設備管理、作業環境の測定評価と改善。 鍍金組合環研 志賀孝作
18	火	A	すず・接合めっき② (めっき法)	アルカリ性浴の特長、浴管理法、すずのウィスカー等。 石原薬品(株)研究部 辻清貴
		D	特定化学物質(医学) (安全衛生)	特定化学物質及び四アルキル鉛による障害の病理、症状、予防方法及び救急措置について 岡村勝郎、石川辰雄
21	金	A	すず・接合めっき③ (めっき法)	はんだめっき浴、鉛レスはんだ浴とそのめっき条件等。 【定期試験②】 石原薬品(株)研究部 辻清貴
		D	特化則(環境)⑤ (安全衛生)	特定化学物質及び四アルキル鉛による健康障害と防止、環境管理、局所排気装置と点検等。 鍍金組合環研 志賀孝作
25	火	A	合金めっき① (めっき法)	原理、単極電位、合金の析出形態、合金めっき共通の諸特性。 キザイ(株) 丸田正敏
		D	保護具⑥ (安全衛生)	有機溶剤、特定化学物質又は四アルキル鉛の保護具の種類、性能、使用方法、管理等。 鍍金組合環研 長嶋政人
28	金	A	合金めっき② (めっき法)	装飾用合金めっきの浴組成とめっき特性等。 キザイ(株) 丸田正敏
		D	作業環境⑦ (安全衛生)	特化物及び有機溶剤の作業環境の測定、評価と改善。 【特化・有機試験】 鍍金組合環研 長嶋政人

※聴講料は1科目クーポン券3枚、または7,500円です。

東鍍工組・公防協組平成19・20年度役員・委員会構成

理事・監事構成

	城東支部	城西支部	城南支部	大田支部
理 事 長				
常任顧問理事			大村功作	
副理事長	八幡順一	由 田 猛		川上洋一 志田和陽
専務理事				
常任理事	木下健次	小橋秀一	高倉利守 中澤敏明	吉 川 進
理事・支部長	遠藤清孝	荻宿充久	藤田直人	佐藤富幸
理 事	西野 亨	高橋達也 内田悦美	若山 満 小谷野英勝 原 清一	池田潤一 宮川容子 入内島正悟
監 事		柏村一志	藤田嘉雄	江原一美
組合員数 07.4.25	32	45	61	67

委員会構成

	副理事長	委 員 長	副委員長	城東支部	城西支部	城南支部	大田支部
総財務委員会	由田 猛	吉川 進	篠根健一 小嶋撰郎	木下健次 遠藤清孝	小橋秀一 荻宿充久	高倉利守 中澤敏明 藤田直人	吉川 進 佐藤富幸
広報委員会	神谷博行	山田英佐夫	石田昌久 西原敬一	内山雄介	戸塚秀孝	板倉富美子	石川貞行
環境委員会	川上洋一 池田敏則	菊池忠男	永田一雄 小橋秀一	小島秀樹	溝口昌範	小谷野英勝	入内島正悟
技能教育委員会	八幡順一	高倉利守	中澤敏明 荻宿充久	芹川充公	荻宿充久 大沢 実	菅野勝靖 若山雅史	内藤喜達
協組運営委員会		志田和陽	委員：吉川 進、神谷博行、山田英佐夫、小原俊幸				
協組処理委員会		志田和陽	委員：当該支部長				

名誉顧問・顧問・相談役

	城東支部	城西支部	城南支部	大田支部
名誉顧問・顧問・相談役	(相談役) 梶原信孝 遠藤 清	(顧 問) 小橋秀壽 溝口幸範 (相談役) 戸塚由雄 佐藤雄三 飯島 昭 元井民夫	(顧 問) 草間英一 木村秀利 (相談役) 手塚忠大 佐藤二郎 下田幸作 小倉芳夫	(顧 問) 海老名平吉 内藤雅文 (相談役) 江原猛二 鈴木健吾

城北支部	中央支部	足立支部	葛飾支部	向島支部	本所支部	西部支部	員 外
						姫野正弘	
			神谷博行	池田敏則			
						(工組) (協組)	青木治郎 小原俊幸
篠根健一	小嶋撰郎	永田一雄	菊池忠男	石田昌久	山田英佐夫	西原敬一	
今泉好隆	斎藤 功	細井 碧	小倉攻一	石崎利一	山田英佐夫	柴 太	
大和田昌宏	石井徹夫	豊田金造	広根淳一 柴田 徹	深田 稔	岡本博司	池田正明	
平野普三雄			石川進造				
49	27	39	55	39	18	29	

城北支部	中央支部	足立支部	葛飾支部	向島支部	本所支部	西部支部
篠根健一 今泉好隆	小嶋撰郎 斎藤 功	永田一雄 細井 碧	菊池忠男 小倉攻一	石田昌久 石崎利一	山田英佐夫	西原敬一 柴 太
佐藤賢一	鈴木啓之	小島一浩	広根淳一	影山雄一	野田光昭	中嶋規夫
上原裕司	中村建輝	磯村博明	佐藤秀昭	岩井孝之	酒巻正明	岡 正典
田村卓也 上田浩司	石井徹夫	豊田金造	中田充彦 太田幸一	坂井正廣	安西健一郎	横山幹夫

城北支部	中央支部	足立支部	葛飾支部	向島支部	本所支部	西部支部
(顧問) 野上榮一 (相談役) 大和田博 田村哲夫 鈴木康之 海野吉正	(顧問) 間部健太郎	(名誉顧問) 瀬田新二 (相談役) 野澤宗市 小澤栄男 永田吉輝	(顧問) 太田寿一 (相談役) 西谷幸一			(相談役) 山下陽右 半田 實

平成 19 年度・20 年度

東京都鍍金工業組合 役員

東京鍍金公害防止協同組合

(担当委員会) [所属支部]

理事長・常任顧問理事・副理事長・専務理事



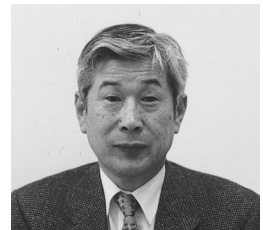
理事長 姫野正弘
〔西部支部〕



常任顧問理事 大村功作
〔城南支部〕



副理事長 由田 猛
(総財務委員会)
〔城西支部〕



副理事長 川上洋一
(環境委員会)
〔大田支部〕



副理事長 八幡順一
(技能教育委員会)
〔城東支部〕



副理事長 志田和陽
(公害防止協同組合)
〔大田支部〕



副理事長 神谷博行
(広報委員会)
〔葛飾支部〕



副理事長 池田敏則
(環境・経済研究会)
〔向島支部〕



工組専務理事 青木治郎
〔員 外〕



協組専務理事 小原俊幸
〔員 外〕

常 任 理 事



木下健次
(総財務委員)
〔城東支部〕



小橋秀一
(環境副委員長)
〔城西支部〕



高倉利守
(技能教育委員長)
〔城南支部〕



中澤敏明
(技能教育副委員長)
〔城南支部〕



吉川 進
(総財務委員長)
〔大田支部〕



篠根健一
(総財務副委員長)
〔城北支部〕



小嶋撰郎
(総財務副委員長)
〔中央支部〕



永田一雄
(環境副委員長)
〔足立支部〕



菊池忠男
(環境委員長)
〔葛飾支部〕



石田昌久
(広報副委員長)
〔向島支部〕



山田英佐夫
(広報委員長)
〔本所支部〕



西原敬一
(広報副委員長)
〔西部支部〕

支部長・理事



遠藤清孝
〔城東支部〕



菊宿充久
〔城西支部〕



藤田直人
〔城南支部〕



佐藤富幸
〔大田支部〕



今泉好隆
〔城北支部〕



斎藤 功
〔中央支部〕



細井 碧
〔足立支部〕



小倉攻一
〔葛飾支部〕



石崎利一
〔向島支部〕



山田英佐夫
〔本所支部〕



柴 太
〔西部支部〕

理 事



西野 亨
〔城東支部〕



高橋 達也
〔城西支部〕



内田悦美
〔城西支部〕



若山 満
〔城南支部〕



小谷野英勝
(環境委員)
〔城南支部〕



原 清一
〔城南支部〕



池田 潤一
〔大田支部〕



宮川 容子
〔大田支部〕



入内島正悟
〔大田支部〕



大和田昌宏
〔城北支部〕



石井徹夫
〔中央支部〕



豊田金造
〔足立支部〕

理 事



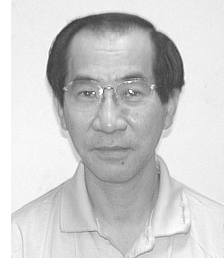
広根 淳一
(広報委員)
〔葛飾支部〕



柴田 徹
〔葛飾支部〕



深田 稔
〔向島支部〕



岡本 博司
〔本所支部〕



池田正明
〔西部支部〕

監 事



柏村 一志
〔城西支部〕



藤田 嘉雄
〔城南支部〕



江原 一美
〔大田支部〕



平野普三雄
〔城北支部〕



石川 進造
〔葛飾支部〕

環境委員会委員



小島 秀樹
〔城東支部〕



溝口 昌範
〔城西支部〕



小谷野英勝
〔城南支部〕



入内島正悟
〔大田支部〕



上原 裕司
〔城北支部〕



中村 建輝
〔中央支部〕



磯村 博明
〔足立支部〕



佐藤秀昭
〔葛飾支部〕



岩井 孝之
〔向島支部〕



酒巻 正明
〔本所支部〕



岡 正典
〔西部支部〕

技能教育委員会委員



芹川 充公
〔城東支部〕



菊宿 充久
〔城西支部〕



大沢 実
〔城西支部〕



菅野 勝靖
〔城南支部〕



若山 雅史
〔城南支部〕



内藤 喜達
〔大田支部〕



田村 卓也
〔城北支部〕



上田 浩司
〔城北支部〕



石井 徹夫
〔中央支部〕



豊田 金造
〔足立支部〕



中田 充彦
〔葛飾支部〕



太田幸一
〔葛飾支部〕



坂井正廣
〔向島支部〕



安西健一郎
〔本所支部〕



横山 幹夫
〔西部支部〕

広報委員会委員



内山 雄介
〔城東支部〕



戸塚 秀孝
〔城西支部〕



板倉富美子
〔城南支部〕



石川 貞行
〔大田支部〕



佐藤 賢一
〔城北支部〕



鈴木 啓之
〔中央支部〕



小島 一浩
〔足立支部〕



広根 淳一
〔葛飾支部〕



影山 雄一
〔向島支部〕



野田 光昭
〔本所支部〕



中嶋 規夫
〔西部支部〕

名誉顧問・顧問・相談役



名誉顧問 瀬田新二
(セテック(株))
〔足立支部〕



顧問 海老名平吉
(エビナ電化工業(株))
〔大田支部〕



顧問 小橋秀壽
(株清化学)
〔城西支部〕



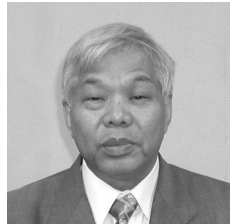
顧問 草間英一
(株三ツ矢)
〔品川支部〕



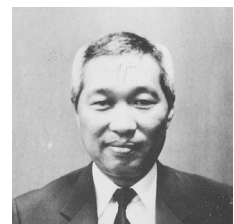
顧問 溝口幸範
(株旭電化研究所)
〔城西支部〕



顧問 太田多一
(太田鍍金工業所(株))
〔葛飾支部〕



顧問 木村秀利
(木村鍍金工業(株))
〔城南支部〕



顧問 内藤雅文
(平和工業(株))
〔大田支部〕



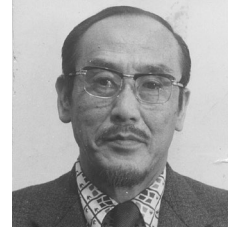
顧問 野上榮一
(野上化学工業(株))
〔城北支部〕



顧問 間部健太郎
(株入谷電鍍所)
〔中央支部〕



相談役 江原猛二
(メイホー(株))
〔大田支部〕

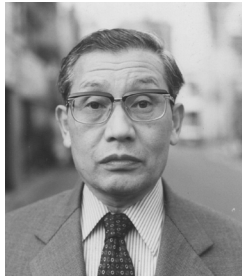


相談役 手塚忠大
(有)不二電化鍍金工業)
〔城南支部〕

相 談 役



相談役 梶原信孝
(有)松尾鍍金工業所
〔城東支部〕



相談役 大和田博
(有)大和田鍍金工業所
〔城北支部〕



相談役 佐藤二郎
(有)佐藤硬質鍍金工業所
〔城南支部〕



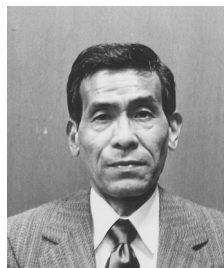
相談役 野澤宗市
(足立工業株)
〔足立支部〕



相談役 田村哲夫
(有)田村化学工業
〔城北支部〕



相談役 戸塚由雄
(株)瑞 光
〔城西支部〕



相談役 下田幸作
(有)二幸精鍍研究所
〔城南支部〕



相談役 遠藤 清
(有)朝日鍍金工場
〔城東支部〕



相談役 鈴木康之
(有)鈴木鍍金工業所
〔城北支部〕



相談役 山下陽右
(山下産業株)
〔西部支部〕



相談役 佐藤雄三
(株)佐藤鍍金工業所
〔城西支部〕



相談役 飯島 昭
(飯島鍍金工業有)
〔城西支部〕

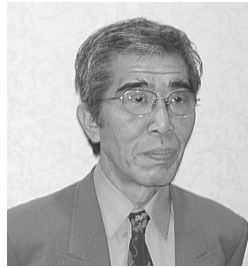
相 談 役



相談役 小倉芳夫
(小倉鍍金工業(株))
〔城南支部〕



相談役 鈴木健吾
(新日東電化協業組合)
〔大田支部〕



相談役 海野吉正
(海野鍍金工業(株))
〔城北支部〕



相談役 西谷幸一
(有)亜鉛鍍金工業西谷
〔葛飾支部〕



相談役 元井民夫
(有)元井鍍金工場
〔城西支部〕



相談役 小澤栄男
(株)小澤鍍金工業
〔足立支部〕



相談役 永田吉輝
(株)八神化学工業所
〔足立支部〕



相談役 半田 實
(有)半田鍍金工業所
〔西部支部〕

部会長・青年部会長



菊池 忠男
(亜鉛めっき部会長)



瀬戸新一郎
(工業用クロムめっき部会長)



野澤 宗市
(D P 部会長)



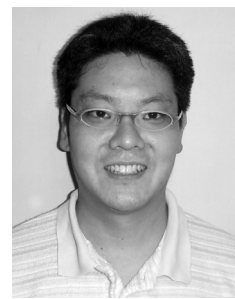
高橋 利男
(連合青年部会長)



内藤喜達
(城南青年部会長)



鈴木功一
(城北青年部会長)



橋本 丈
(足立鍍友会会長)



黒田 祐二
(葛飾青年部会長)



杉江 一郎
(向島若葉会会長)



酒巻 正明
(本所墨鍍会会長)



鈴木 信夫
(西部五月会会長)

工業組合・協同組合事務局職員

工業組合事務局職員



前列左から西須伸夫主任、長嶋政人技術課長、前田孝事務局長、青木治郎専務理事
志賀孝作環研所長、神戸徳蔵技術顧問、斉藤弘幸環研係長、後列左から大田黒祥子係長
島田良美係長、三鴨若菜、近藤寿雄、宮部圭典主任、古橋史江、戸井崎茂、柴田京子

協同組合事務局職員



前列左から新井健二業務課長、小原俊幸専務理事、大野克博所長
後列左から川崎勝慶、内田義昭、岡田明美

組合員各位

亜鉛めっき部会講習会開催のお知らせ

東京都鍍金工業組合
理事長 姫野 正弘
亜鉛めっき部会
会 長 菊池 忠男

亜鉛めっき部会(菊池忠男会長)は、昨年と同様に、東京都鍍金工業組合(姫野正弘理事長)との共催により『亜鉛 2ppm 規制とクロムと環境と』の講習会を下記のとおり開催致します。皆様の多数のご参加をお願い申し上げます。

記

日	時	平成 19 年 10 月 10 日(水)午後 6 時 30 分より
会	場	めっきセンター 4 階会議室
演	題	『亜鉛 2ppm 規制とクロムと環境と』
講	師	矢部技術事務所 所長 矢部 賢氏
申 込 方 法		下記申込書にご記入のうえ、FAX にて送付して下さい。
申 込 締 切 日		平成 19 年 9 月 21 日(金)
定	員	60 名になり次第締め切らせていただきます。
対	象	亜鉛めっき部会員および工業組合員と、その従業員
会	費	お一人様 1,000 円 (軽食・飲み物・テキスト付) (会費は当日ご持参ください。)
問 合 せ		東京都鍍金工業組合 事務局 / 近藤 TEL 03-3814-5621 FAX 03-3816-6166

平成 19 年 10 月 10 日開催 講習会出席申込書

支部

会社名

氏名

出席者数

名

※出席者が複数の場合は、出席者氏名を余白にご記載願います。

※お申し込みは、この用紙でFAX (03-3816-6166) にてお願いします。

石川進造氏 ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞受賞

第2回ものづくり日本大賞内閣総理大臣賞の表彰式が8月10日(金)午後4時30分から国会議事堂前の首相官邸で行われ、安倍晋三総理大臣から受賞者に賞状等が授与された。

ものづくり日本大賞は、我が国産業・文化を支えてきた「ものづくり」を継承・発展させるため、ものづくりを支える人材の意欲を高め、その存在を広く社会に知らしめることを目的に創設した内閣総理大臣表彰で、経済産業省、文部科学省、厚生労働省及び国土交通省の4省庁連携により、平成17年に第1回を開催し、その後2年に一度開催することとしている。ものづくりの中核を担う中堅人材、伝統の技を支える熟練人材及び将来を担う若手人材を表彰する。また、チームワークが我が国の強みであることを踏まえ個人のみならず、グループも受賞の対象としている。各省庁は、有識者で構成される第三者委員会の審査等を踏まえて受賞者を選定し、受賞者には賞状・メダル・徽章・楯が授与される。

今回の総理大臣賞受賞者は、経済産業省関係5件20名、国土交通省関係7件14名、厚生労働省関係4件4名、文部科学省関係4件



7名の合計20件45名である。

東京都鍍金工業組合関係者では、組合監事の石川進造氏(㈱ヒキフネ・(社)表面技術協会推薦)が厚生労働省関係で現代の名工として受賞された。石川進造氏(72)の受賞事由は、複雑微細な形状素材に均一な膜厚のめっき皮膜を施す技能に卓越。電鍍技能による超微細金型の開発を行うとともに、光ファイバーの接合箇所に密着性に優れた金めっきを施す技能により通信業界に大きく貢献。また、電鍍法による金製中空宝飾品の製造法を考案し、工業化に寄与したとしている。



都産労局 京王電化工業㈱視察

東京都産業労働局・塚田総務部長・三枝商工部長はじめ同局関係者 13 名が7月 23 日(月)午前 10 時から東鍍工組西部支部の京王電化工業㈱(姫野正弘社長)を視察した。



はじめに同社の業務内容の説明を受けて、めっき設備などを視察した。同社は、回転式バレル 3 個クロムめっき、3 個オリーブクロメート、クエン酸ニッケルめっきなど環境にやさしいめっきを実現しており、これら施設に関心が集まった。このあと、東京都視察団は、航空機産業関連の(株) I H I 瑞穂工場を視察した。

東京都中小企業の 6 月景況

横ばいで 4 ポイント改善した前月水準を維持

東京都産業労働局商工部

◎6 月の都内中小企業の業況 DI(業況が「良い」とした企業割合－「悪い」とした企業割合)は前月と変わらずの▲27 となり、4 ポイント改善した前月の水準を維持した。一方、当月と比べた今後 3 ヶ月間(7～9 月)の業況見通し DI は、前月比 2 ポイント減少の▲15 と悪化に転じた。また前年同月比の売上高 DI も前月比 1 ポイント減少の▲32 と、わずかずつではあるが 3 ヶ月連続の悪化となっている。

○都内中小企業の業況 DI を業種別にみると、卸売業は前月比 2 ポイント増加の▲26 と 3 ヶ月連続の改善となった。サービス業は 1 ポイント増加の▲20、小売業は横ばいの▲45 であった。製造業(▲21)は前月までの 2 ヶ月間で 12 ポイント改善していたが、当月は 3 ポイント悪化した。なお、前月比仕入価格 DI(仕入単価が「上昇」とした企業割合－「低下」とした企業割合)をみると、製造業はここ 3 ヶ月間+30 前後と特に高く、原材料仕入単価の上昇に見舞われていることが分かる。

○当月と比べた今後 3 ヶ月(7～9 月)の業況見通し DI を業種別にみると、小売業(▲23)のみ前月比 5 ポイント増加と 3 ヶ月連続の改善がみられたが、製造業(▲13)は 4 ポイント減少、卸売業(▲12)とサービス業(▲12)は 3 ポイント減少と悪化に転じた。

○前年同月比の売上高 DI を業種別にみると、製造業(▲27)が前月比 2 ポイント減少と前月に続き悪化した。その他 3 業種は卸売業(▲30)が 1 ポイント増加、小売業(▲46)は 1 ポイント減少、サービス業(▲27)は横ばいと変化に乏しい動きとなった。

「ものづくりー表面技術のすべてがわかるー」 SURTECH 2007

(社)表面技術協会では2005年2006年総合表面博覧会「SURTECH&Coating Japan」を開催し参観者をはじめ関係各位より好評を博したが、今年は「SURTECH 2007」と名称を改め9月5日(水)～7日(金)の3日間、さらに飛躍するために会場を「幕張メッセ」に移し、開催規模も大幅に拡大して開催される。

目 的 材料表面に関する学理および技術の進歩普及の成果を『見て、触れて、話せる場』である本展示会を通じて、産学公のユーザー・サプライヤー・加工業に関わる人々が一堂に会す。製品・技術・研究の発表など情報交流の場として基盤産業・表面処理業並びに関係業界の更なる発展を求める。

名 称 SURTECH 2007

「ものづくりー表面技術のすべてがわかるー」

開催日時 平成19年9月5日(水)～7日(金)10:00～17:00

会 場 幕張メッセ 展示ホール7

主 催 (社)表面技術協会

後 援 経済産業省、(独)中小企業基盤整備機構、千葉県

特別協力 材料技術研究協会、全国鍍金工業組合連合会、日本塗装機械工業会、日本塗装技術協会、(社)日本熱処理技術協会、(社)日本表面処理機材工業会

入 場 料 1,000円(事前登録者、招待状持参者は無料)

URL <http://www.surtech.or.jp>

問合わせ SURTECH2007事務局 電話 03-3663-0456

出 展 者 めっき、塗装・塗料、熱処理、表面硬化、ドライプロセス・表面改質、環境保全・環境対策関連業種、試験・検査・研究・指導関連業種、その他表面処理に関する機材・材料・技術など関連業種など100を超える企業・団体が展示を行う。

■基調講演

5日(水)11:00～12:00／国際会議室 SURTECH2007入場登録者のみ無料で聴講できる。
ーものづくりー「課題先進国」日本ー 東京大学総長 小宮山 宏氏

■特別展示 展示会場内 特別展示ゾーン

テーマ:自動車と表面技術

概 要:自動車と表面技術のかかわりについて、水素自動車の展示を中心に表面技術の代表的な、めっき、アルマイト、塗装、ドライプロセスなどの部品及びパネルの展示を行う。

■特別展示講演 SURTECH2007入場登録者のみ無料で聴講できる。

7日(金)13:15～16:30 303会議室

1. 「自動車産業に関する技術課題と DLC コーティング」(13:15-14:15)

(株)豊田中央研究所 主監 太刀川英男

概要：環境問題など今後自動車産業が取り組むべき課題は多い。そうした課題解決への重要なキー技術として、DLC コーティングが注目されている。我々が開発してきた DLC-Si コーティング技術を中心に DLC の実用状況について紹介する。

2. 「自動車エンジンの低フリクション化表面処理技術」(14:15-15:15)

日産自動車(株)総合研究所 主任研究員 保田芳輝

概要：環境問題への関心の高まりから自動車エンジンへの燃費向上の要求はますます高まっており、各機械要素のフリクション低減の果たす役割は非常に重要である。ここではエンジンにおける低フリクション化表面処理技術について動弁系バルブリフターに採用した DLC 膜を中心に紹介する。

3. 「F1 レースエンジンにおける表面技術」(15:30-16:30)

(株)本田技術研究所 主任研究員 星 雅巳

概要：HONDA の F1 活動の概要と近況、および F1 エンジンで使われている様々な表面技術を紹介する。

■特別講演／セミナー講演 SURTECH2007 入場登録者のみ無料で聴講できる。

5 日(水)～7 日(金)201 会議室

概要：SURTECH2007 が企画する本年の「特別講演／セミナー講演」は、表面技術の大きなテーマである“ウェットプロセス”“ドライプロセス”“バイオ・環境エネルギー”に分けて紹介する。

■技術講演会 SURTECH2007 入場登録者のみ無料で聴講できる。

5 日(水)～7 日(金)展示会場内 技術講演ゾーン

概要：出展企業による技術講演。出展各社の様々な製品・技術をテーマに行われ、情報収集に大変重要である。展示会場内の技術講演ゾーンで開催される。

■ポスターセッション 展示会場内 ポスターセッションゾーン

コアタイム 6 日(木)11:00～12:30

概要：表面処理製品を利用する製造業やユーザーを初め、一般の方々が表面技術の理解や環境への配慮、新たな製品を企画・設計する際に役立つよう、表面処理技術に関する研究成果や公設試験研究機関等の紹介をする。

■表協部会講演会 SURTECH2007 入場登録者のみ無料で聴講できる。(テキスト代は有料)

【9 月 5～6 日】表協青年経営技術懇話会部会(13:30～16:30 303 会議室)「ゴルフが教えてくれたもの」プロゴルファー・作家 坂田信弘氏はじめ、表協エレクトロニクス部会・材料機能ドライプロセス部会・表面技術環境部会・ナノテク部会・電鍍・金型の表面処理研究部会および表面改質・硬化部会・めっき部会・ライトメタル表面技術部会の色々な講演会が行われる。

■特別協力団体セミナー SURTECH2007 入場登録者のみ無料で聴講できる。(テキスト代有料) SURTECH2007 の特別協力団体((社)日本熱処理技術協会・(社)日本表面処理機材工業会・材料技術研究協会)による講演会を行う。

Pマーク認証取得企業向け ケーススタディ研修案内

個人情報保護マネジメントシステム「要求事項」の最新版 JISQ15001:2006 が 2006 年 5 月 20 日に制定され、5 月 22 日から運用が開始されています。このためプライバシーマーク取得企業は、プライバシーマークを更新する場合、JISQ15001:2006 に適合していなければなりません。

本研修は、プライバシーマークを取得している中小企業を対象に、JISQ15001:2006 に適合するための更新ポイントなどを学びます。またケーススタディ(演習)では、個人情報保護方針及び個人情報の取り扱いの改訂ポイントを実践的に学びます。

開催日時 9 月 26 日(水)10:00～17:00

会場 (財)東京都中小企業振興公社 秋葉原庁舎 3 階 第 4 会議室
(千代田区神田佐久間町 1-9)

対象者 新 JIS への更新が必要な企業、
または新規取得を考えている企業
の経営者、担当者等

定員 30 名

受講料 ¥4,000

講師 山村嘉一氏(NPO 東京 IT コーディネータ副理事長 ISMS 審査員補、中小企業診断士、IT コーディネータ)

講座内容

(基礎編)

- 1.JISQ15001:2006 への移行手順
- 2.JISQ15001:2006 の要求事項
- 3.JISQ15001:2006 で変更・追加された用語
- 4.JISQ15001:2006 の主な改正点

(応用編)

- 1.個人情報方針の改訂ケーススタディ(演習)
- 2.個人情報の取り扱いについて(演習)

新 JIS に対応するためのケ

財団法人東京都中小企業振興公社

申込方法 ①東京都中小企業振興公社ホームページから <http://www.tokyo-kosha.or.jp> トップページ「研修・セミナー」のバナーをクリック→「研修一覧」から希望の研修名をクリック→必要事項を入力、送信。

②FAXでのお申込み 「受講申込書」に必要な事項をご記入の上、公社まで FAX で送付。「受講申込書」は下記問合せ先へ電話でご請求ください。

問合せ先 (財)東京都中小企業振興公社 取引振興課 研修担当

TEL:03-3251-7883/FAX:03-3251-7888

※東京都中小企業振興公社では、中小企業の経営者、社員の方々のお役に立てるバラエティに富んだ経営&IT研修を毎月行っております。個人のスキルアップはもちろん、今後の企業経営において参考になる有益な研修を多数ご用意しております。

訃報

謹んでご冥福をお祈りいたします

高橋勇様(城東支部・榊高勢社長)

8 月 6 日午前 1 時 32 分胃がんのため死去、65 歳。告別式は 10 日午前 10 時から葛飾区奥戸のセレモ新小岩ホールで行われた。喪主は勢津子様。

高橋様は平成 3 年から 1 期 2 年組合の監事を務められた。

第 41 回上級表面処理技術講座

ー受講生募集ー

(株)ハイテクノは第 41 回上級表面処理技術講座(11 月開講)の受講生を募集する。

開講以来 41 年目を迎え既に修了者 1487 名(受講者 1742 名)を業界に送り出している。最近の講師陣には多くの卒業生を数えるようにもなった。開講以来教育方法を工夫しながら改善を重ね、ビデオ、プロジェクター等の A/V 機器をフルに利用した効果的な授業を行っている。また時代の変遷とともに、表面処理技術の内容も変化し、進歩するので、毎年時代に即応したカリキュラムを編成し続けてきた。一方的な知識のつめ込みだけでなく、各講座単位ごとに行われる確認テスト、グループ討論や修了認定研究発表などを通じて幹部にふさわしい人間教育も行っている。

講座は「一般めつきコース」と「エレクトロニクス実装コース」の 2 コースがあり、「一般めつきコース」では湿式めつき技術を中心とするほか、ドライプレーティング、陽極酸化、工業塗装等の関連表面処理科目も設け、幅広い表面処理技術分野を学ぶことができる。「エレクトロニクス実装コース」では新しい時代に即したエレクトロニクス実装用めつき技術者の養成を図る。また、工場幹部に必要な工場経営や生産管理、品質管理、環境管理などの管理科目を設けている。それぞれのコースにはじっくり教育を目的とする本科(基礎科目+専門科目)と、忙しい人のための専修科(専門科目のみ)が選択できる。

講座では、普通の大学や講習会とは違って、時間厳守の方針をとり、出欠を厳しく管理している。各授業の終わりには内容確認の目的の簡単なテストを行う。

講師陣は受講生のアンケート回答により受講生の理解度をフィードバックして授業内容や授業方法の改善に努めている。

講座は午前 10 時から午後 5 時までで、東北や関西地区からの新幹線通学も可能である。受講生によるグループ討論会、懇親会、修了



認定研究等を通して発表力、討論能力を養成すると同時に人間関係もつくる。

講座期間は本科が平成 19 年 11 月から 20 年 11 月、講義数の少ない専修科は平成 19 年 11 月から 20 年 11 月まで原則として木曜日開講(AM10:00~PM5:00)一部土曜日開講。

定員は本科一般めつきコース 25 名、エレクトロニクス実装コース 10 名、専修科は各コース 10 名(申込順受講認可)。講堂は京浜島センタービル。

費用は本科の入学金がハイテクノ会員企業無料、その他企業 5 万円、本科の受講料は年間 50 万円。専修科の入学金はハイテクノ会員企業無料、その他企業 5 万円、受講料は年間 45 万円。入学金、受講料は 10 回分納方式を勧めている。申込締切は 10 月 20 日。

なお同講座には「キャリア形成促進助成金」制度が適用される。従業員の派遣を計画の事業所は 8 月中旬に事業内職業能力開発計画作成の相談・提出を、当地の雇用・能力開発機構(ナビダイヤル 0570-001154)へ。

受講資格は、学科の程度は高専、大学程度なので、大卒(文系を含む)は勿論、高卒程度の知識と意欲があればついて来られるので資格制限はしていない。また所定の合格認定単位数に達し修了認定研究の審査に合格した者に対しては修了認定証授与規程に基づき修了認定証が授与される。

申込みは、(株)ハイテクノ 上級表面処理技術講座事務局(〒143-0003 大田区京浜島 2-16-1 京浜島センタービル内)
TEL03(3790)3174(代) FAX03(3799)0928
<http://www.hightechno.co.jp>

■十日会

7 月例会

十日会(太田幸一会長)は 7 月 9 日(月)午後 7 時からめっきセンターで例会を開き、講師に石原祥江氏(㈱ハイテクノ)を招き「環境問題に関する経験談～節水とリサイクルのための水洗方法～」の講演を、会員 30 名が聴講した。

柴田徹副会長の司会により、太田会長は「環境にやさしいめっき業を目指すには有害物質を使わないことも大切だが、水や金属等の資源を大切にリサイクルすることが重要な課題になっている。今日は石原先生の講演を聴いてリサイクル方法などを勉強したい」と挨拶した。

石原氏はまず略歴として、材料商の研究室に 20 年間勤務し、次に現場で技術に携わってみたいと 15 年間めっき工場の技術を担当した。定年を迎えて㈱ハイテクノに入り現在に至っている。ハイテクノの前身が中村経営研究所で、めっきセンターに事務所があり、めっきセンターが建設された当初からセンターに通った。業界に入って 40 年が経ち、社会情勢など大きく変化した。その中で特に 3 つことを感じている。1 つは計算器で、私が仕事を始めた頃からは劇的に変化を遂げた。材料商で 1 日何十検体の分析、計算をするが、いまのような電卓はなかった。もう 1 つはパソコンである。中村経営研究所でコンピュータ講座を開くという案内がありこれからはコンピュータの時代だからと会社に頼み講座を受けさせてもらった。当時は部屋一杯に入るような大きなコンピュータで、それがいまでは一般家庭までに普及し、職場では 1

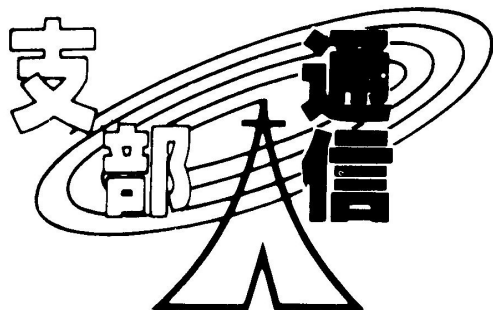


人 1 台の時代であり、物凄い変化である。3 つ目は、公害問題で組合の 80 年史に公害問題の項目がある。私もいろんな経験をしてきたが、電卓やパソコンと違って公害対策は 40 年前の技術がいまでも通用するのが他と違うところであると思う。40 年前の技術が生きているというのが、本日の話の骨子になると思う」と前置きして、パワーポイントを用いて、1) 水洗の理論、2) 水洗工程の実際上の要点、3) バッチ式多段向流水洗の簡易計算法などを講演した。

十日会第 65 回ゴルフ大会 会員参加者募集

日 程 11 月 11 日(日)
場 所 紫カントリークラブあやめコース
千葉県野田市鶴奉 463-1

TEL04-7124-1177 FAX04-7124-1174
連絡先 幹事 石川英孝(㈱ヒキフネ)
幹事 内藤喜達(平和工業㈱)



■城南支部

屋形船で納涼会

城南支部(藤田直人支部長)は7月13日(金)午後6時から北品川の船宿「船清」の屋形船で支部員多数が参加して納涼会を行った。

全員が船に乗って出航すると、藤田支部長は「台風4号が近づいており、東京湾の波が心配されるが、影響があるのは明日以降ということで、今日は安心して楽しんで頂きたい。又デベロッパーと土壌分析の業者の方がみえており、後ほどお話を伺いたい」と挨拶した。

木村秀利城南連合支部事務局長(組合顧問)は「今年から事務局長を仰せつかった。長年事務局のアルバイトを勤めた方が通勤が遠いことなどで退職された。たまたま事務局石川さんの紹介を得て加藤さんが毎週火、木曜に来ていただくことになった」と加藤さんを紹介してから乾杯音頭をとった。

懇親会に入り、草間英一顧問は「土壌汚染に伴い不動産価値が下がり中々売却できない問題がある。たまたま私どもが懇意にしているアイティ都市開発㈱と日本環境㈱に来て頂いたので、土壌汚染の問題を含めて不動産業者がどう対応して頂けるか話を伺いみなさんの参考に供したい」と両社の担当者を紹介、それぞれの会社の営業内容や特徴などについて説明を頂いた。

船は北品川の船宿を出発してお台場海浜公園へ、そこで暫く停泊し、涼しい海風を受け、お台場の夜景を眺めながら冷えたビール、江戸前の天ぷら料理などを味わいながら楽しい一時を過ごした。東京湾からの東京の夜景は素晴らしいもので帰りは隅田川の入口、勝どき橋まで遊覧しながら北品川に戻った。



■城北支部

支部員慰労旅行会

城北支部(今泉好隆支部長)は去る 6 月 16～17 日、支部員慰労旅行会を行った。参加者 24 名にて同日午後 1 時に J R 日暮里をバスで出発して、途中、勝沼のメルシャンワインのワイン工場を見学、試飲して目的地の山梨・ホテル春日居に 3 時過ぎに到着し、日頃の汗を温泉で流した後、懇親、慰労の宴会が始まった。最後に、今泉支部長より挨拶があり、二期続投に際して協力と今まで 2 年間の協力に感謝の言葉を述べた。続いて、前期の相談役及び本部役員の本部よりの感謝状と記念品の贈呈が行われ、続いて平野監事より乾杯の音頭で宴会が和やかに始まった。

最後、中締めで篠根常任理事より挨拶



と手締めが行われ、春日居の夜は更けていった。翌日、峠茶屋で昼食をとり、また一路、バスは中央道を家路に向かって走った。

6 月、下界は暑さで始まったが、ワイナリーで南アルプスを望むとまだ残雪がかなりありました。(文・佐藤賢一)



■中央支部

納涼会

中央支部(齋藤功支部長)は 7 月 27 日 (金)午後 6 時 30 分から神田淡路町のオークプラザ 1F カフェ レストラン バー「OAKS」で組合員、家族、従業員等多数に参加して納涼会を開催した。



はじめに齋藤支部長は「今日は大勢の参加を頂き感謝申し上げる。例年上野精養軒の屋上を使っていたが、雨や暑さなど天候に左右されるので、今回は人数と天候を考えて、本席を設定した。飲み放題であり、大いに飲んで食べて夏の暑さを吹き飛ばしてください」と開会の挨拶。小嶋摂郎常任理事の乾杯音頭で懇親会に入った。



(中央のキックボクサーと宴人)
和やかな歓談のなか、お笑い芸人「宴

人」のトークショーなどで笑いの絶えない楽しい時間を過ごし、佐野正親氏の手締めにより終了した。



■城東支部

納涼会

去る7月21日(土)、城東支部(遠藤清孝支部長)は恒例の‘支部納涼会’を千葉県浦安市にある「浦安薬効温泉・湯巡り万華郷」にて行った。ここはディズニー・リゾートのある舞浜駅のひとつ隣の新舞浜駅の近くにある‘スパ・ハウス’。地下1,400メートルから湧き出す天然温泉を38もの色々な風呂で楽しめる。

さすが浦安の温泉、塩分の強い泉質は保温効果が高く、神経痛・筋肉痛・関節痛・疲労回復に効果があるという、これは日頃の仕事疲れを癒すにはもって来いである。館内は内湯ゾーン・露天ゾーン・水着ゾーンと別れており、漢方薬湯、ジャグジー、ドライ・サウナなど自分にあった風呂を探しているいろいろ試してみるのも楽しい。特に水着ゾーンの大きな岩と流れ落ちる滝のある広大な風呂はリラッ



クスできる。他にも館内には和洋中のレストラン、居酒屋、カラオケ、エステにリラックスルームと設備も充実しており一日中楽しめそうだ。ここでは温泉機器設備は本体建物から離れた場所にあり、天然ガス・セパレーターも屋外に設置されているので安心、こんなところも最近では重要だ。

さて、このままだとすっかり宣伝になってしまうので城東支部の話・・・
当日参加者は各自現地集合、好きなだけ温泉を楽しんだあと午後7時に宴会場に集合した。今回の参加は11名、遠藤支





部長の「今日は色々な温泉を楽しんでいただき日頃の疲れもだいふ癒されたことと思います、ここからはお料理と冷たい飲み物を存分にお楽しみください。」という挨拶のあと八幡副理事長の発声で乾杯となり浴衣姿でリラックスした参加者たちは豪華な料理に舌鼓を打った。そして宴も進みカラオケに・・・支部長がまず一曲、そのあとテーブルをマイクが回りトリの八幡副理事長まで全員が歌を披露するという和やかな宴となり9時過ぎの小島一郎総代による中締めまで大いに盛り上がった。

(文・写真 内山雄介)

■城北青年部会

定時総会

城北青年部会(仁木久之会長)は3月23日午後6時30分より、現役会員、OB会員、名誉会員 を合わせて 25 名で、北区王子の北とびあ 8 階にて平成 18 年度定時総会を開催した。

始めに仁木会長より「2年間皆様よりいろいろご協力を頂き、ありがとうございました」と挨拶した後、今泉支部長より、仁木会長と2年間協力してやってき

たことを振り返っての話題といった挨拶が述べられた。

続いて新会長選出で、仁木会長が自分をサポートしてくれた鈴木副会長を推薦し、満場一致にて鈴木会長誕生となり、総会は無事に終了した。



その後、北とびあ内の 15 階東武サロンにて懇親会に入った。そこで鈴木新会長は「みんなと力を合わせて頑張っていきたい」と挨拶した後、松本相談役の乾杯の音頭で懇親会に入り、終始和やかなムードの中、茅野相談役の三本締めにて終了した。

(櫻井隆司)

最後に記事、御報告が遅れましたことをお詫びいたします。

『中国語』これはなにかな？ 火車 (HuoChe) ・ 汽車 (QiChe)

承 春先

火車は中国語で HuoChe と言います。これは何の車でしょうか、答えは「汽車」のことです。

蒸気動力によって動く鉄道車両は日本語で汽車といいます。ひろく鉄道一般の意味に用いる、と[広辞苑第五版]に載っています。

この石炭を燃料とする蒸気動力は火の燃焼によるものと認識され、昔の中国人はこれを「火車」と名を付けました。1876 年 7 月に上海から呉淞までに中国で最初の火車が誕生したと言われています。当然これは中国産ではなく、アメリカとイギリスが合作したものです。その火車は後に清政府に買収され、排除されました。しかし、この「火車」の名前は今日でもそのまま使われています。汽車の駅は中国語で「火車站」と言います。

ちなみに、日本語で言う「汽車」は中国語では「バス」のことを指します。例えば「公衆バス」は「公共汽車」と呼びます。

同じ漢字を書いても、日本語と中国語の意味が違う単語は多くあります。時には全く正反対の意味をするケースもあります。

これについてはまた次回にします。

編集後記

日本のコメが中国への輸出解禁となり、新聞の見出しには、価格 20 倍、富裕層に狙い、という活字が踊り、大きな話題となった。コシヒカリ 2kg が約 3200 円、ひとめぼれ 2kg が 3008 円という価格で、中国の平均価格より 20 倍高いということだが、同日のテレビニュースなどでは 1 人で 10 袋、100 袋を買い求める人もおり、飛ぶように売れたという。

一方、日本国内のスーパーマーケットで、銘柄米ではないが、大体 5kg2000 円前後、1kg 当り 400 円で売られており、中国で売られている銘柄米の 4 分の 1 程度である。日本人にとってコメは毎日食するものであり、美味しいおコメを食べたいと思うのは誰でも同じであるが、kg1600 円もするコメを毎日食することができる人はそう多くはないはずである。ほとんどの人が家計を

切り詰めて生活していると思う。kg1600 円もするコメは中国に限らず、日本にとっても毎日食べられる人は生活に余裕のある富裕層くらいだろう。新聞に中国の富裕層狙いとあるのは、日本人にとってもまったく同じ状況といえる。

広報 8 月号

印刷 平成 19 年 8 月 15 日

発行 平成 19 年 8 月 20 日

(毎月 1 回 20 日発行 第 41 巻第 2 号)

発行所 東京都鍍金工業組合

〒113- 東京鍍金公害防止協同組合

0034 東京都文京区湯島 1-11-10

Te1 03(3814)5621 FAX03(3816)6166

発行責任者 姫野 正弘

編集責任者 山田英佐夫

印刷 スザキ企画 Te1 047(338)1222

〒272-0802 市川市柏井町 2-1419-4

定 価 500 円